

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要と 南河原小学校における今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

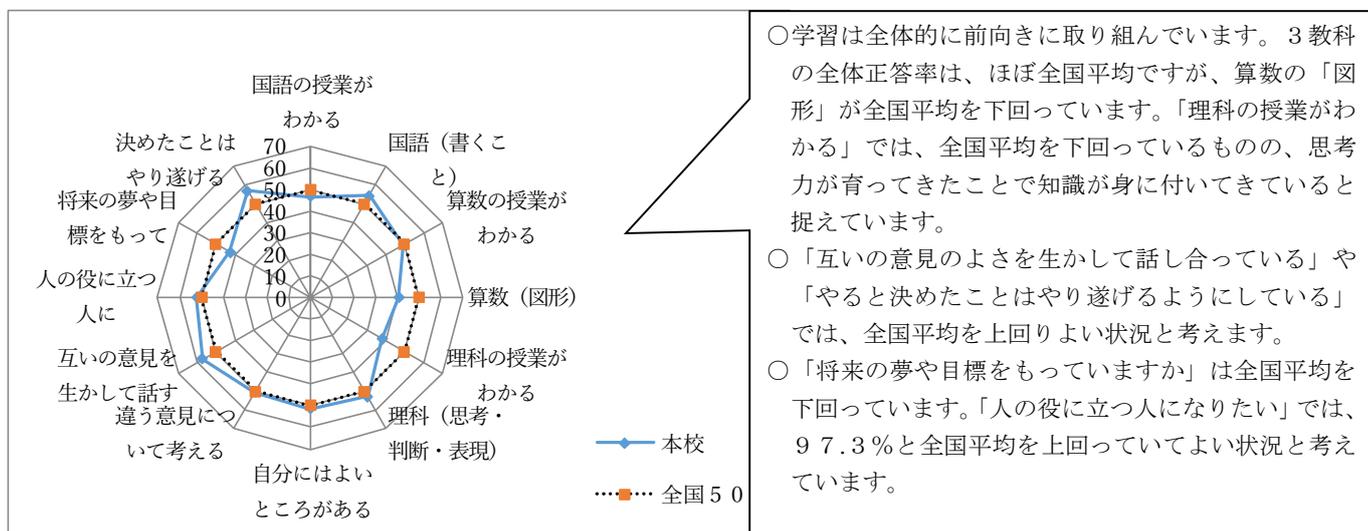
さて、本校におきましては、学校教育目標を具現化するため、学校経営目標として次の4つの柱を今年度の重点として掲げ、教育活動を展開しております。

- (1) 豊かな心とたくましい実践力の育成
- (2) 確かな学力の育成と教職員の指導力の向上
- (3) 健康・体力の増進と安全・安心な学校生活づくり
- (4) 地域に根差した特色ある学校づくり

このたび、4月19日（火）に6年生を対象にして実施されました全国学力・学習状況調査（国語・算数・理科・質問紙）の調査結果から見えてくる本校の教育活動の成果と課題について、上記4つの学校経営目標に焦点をあててご報告いたします。なお、この調査結果で測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることが調査の実施要領に示されております。本資料につきましても、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

今後も、児童のよりよい成長を促すための授業改善や教育活動の見直しに取り組んでまいりたいと思います。本調査の趣旨をご理解いただき、より一層のご支援ご協力をお願いいたします。

1. 本校の調査結果概要 数値は「当てはまる・どちらかという当てはまる」と回答したものです。



○学習は全体的に前向きに取り組んでいます。3教科の全体正答率は、ほぼ全国平均ですが、算数の「図形」が全国平均を下回っています。「理科の授業がわかる」では、全国平均を下回っているものの、思考力が育ってきたことで知識が身に付いてきていると捉えています。

○「互いの意見のよさを生かして話し合っている」や「やると決めたことはやり遂げるようにしている」では、全国平均を上回りよい状況と考えます。

○「将来の夢や目標をもっていますか」は全国平均を下回っています。「人の役に立つ人になりたい」では、97.3%と全国平均を上回っていてよい状況と考えています。

2. これまでの本校の取組と分析

本校では、人権尊重教育を基盤においたやさしさのある関わりづくりのために、たてわり班活動、コミュニティ・スクールの学び支援によるゲストティーチャーとの活動を大切にしてきました。また、自尊感情や自己管理能力、望ましい人間関係を築く教育の充実として、特別活動の充実を目指した取組をしています。昨年度のふり返りをもとに、児童会を通して全校に呼びかけ児童自身が目指す姿を明確にし、児童が主体的に活動するための年間スローガンを掲げて令和4年度をスタートしました。学力の育成におきましては、各教科等における主体的・対話的活動の充実を進めるとともに、入り込みや取り出しによる学習指導、少人数でのグループ学習などを積極的に取り入れ、基礎学力の定着を図ってきました。これらの取組を踏まえ、今年度の学習状況調査の結果を分析いたしました。

①豊かな心とたくましい実践力の育成

「自分にはよいところがある」の質問項目で肯定的な回答が80.6%と良好な状況でした。「自分でやると決めたことはやり遂げるようにする」は94.4%と良好な状況と捉えています。委員会活動やクラブ活動、たてわり班活動を中心とした諸活動に対し、児童一人一人が活動の意義を感じ、学級や学年で認められているという気持ちももっている結果と考えています。「将来の夢や目標をもっていますか」の質問項目は、72.2%と全国平均より下回り、課題のある状況と捉えております。ただ、昨年度と比べると6ポイントアップしていることから、今後も継続して「キャリア在り方生き方教育」の推進を通して、具体的な自分の将来像を考えるとともに自分のよさを生かす喜びを実感できるような教育活動を展開していきます。

②確かな学力の育成と教職員の指導力の向上

国語の全体正答率は全国平均を上回り、よい状況にあると捉えています。しかし、記述式で「互いの立場や意図を明確にしながら自分の考えをまとめる」という趣旨の出題では正答率が36.4%と全国平均を下回っており、課題があると感じています。自分の考えが伝わる文章を書くためには、自分の立場や根拠を明確にすることが大切だと考えます。自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、根拠を記述する必要があることを理解して書くことができるように指導の充実を図っていきます。算数の「図形」は全国平均を下回っています。多面的に図形を捉え、試行錯誤を繰り返す中から気づき、その理由を説明できるようにすることが大切です。そのため、筋道を立ててそれぞれの気づきを説明し合う活動を、さらに取り入れられるよう授業改善を進めていきます。理科では、他教科と同様に主体的な問題解決が求められています。習得した知識は、次の学習や生活などに生かすことができるように、また、いつでも使えるように準備できていることが大切です。このようなことを意識して、授業改善を進めていきます。

③健康・体力の増進と安全安心な学校生活づくり

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時間に寝ている」という項目に対して、肯定的に解答する児童の割合が全国平均より下回っている状況です。基本的な生活習慣を身に付けることは、将来の自立に向けて大切だと考えます。食育や健康教育等の指導に力を入れるとともに、ご家庭との連携が必要だと考えます。新型コロナウイルス感染症につきましては、引き続き各ご家庭にご協力を要請し、感染拡大防止に努めてまいります。

④地域に根差した特色ある学校づくり

「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」は、全国平均を下回りました。「キャリア在り方生き方教育」の推進や「生活科」「総合的な学習の時間」での地域に関連させた活動への取組をさらに進め、自分たちの地域や社会に目を向け、社会の一員であることを自覚できるようにしていきたいと考えております。また、コミュニティ・スクールとしての活動をはじめ、栽培活動、ゲストティーチャーによる学習支援なども活用しながら、地域に根ざした教育活動への取組を進めていきたいと考えております。

【今後の取組】

学習では、引き続き基礎・基本の習得を図るために、個に応じた学習支援体制を整えてまいります。さらに、主体的・対話的な学習を保障するために、教職員の研修等の内容を充実させ、授業改善・授業力向上を進めていきます。

豊かな心とたくましい実践力を育成するために、「自尊感情」「自己管理能力」「望ましい人間関係を築く教育の充実」を重点として、人権尊重教育をより推進し、自己肯定感を高め、安心できる人間関係づくりを進めてまいります。さらに、児童が主体的に取り組む特別活動を充実させながら、自分自身を見つめる機会や成長を実感できる体験活動を計画的に取り組んでまいります。

【教育委員会から】

南河原小学校では、学校経営目標の「地域に根差した特色ある学校づくり」にあるように、コミュニティ・スクールを通じたゲストティーチャーによる学びの支援等を大切にしながら、人権尊重教育に取り組んでいます。児童会活動も自主的に活動できるよう工夫することで、児童の自己有用感を育み「互いの意見のよさを生かして解決方法を決めよう」「自分でやると決めたことはやり遂げよう」という子どもたちの姿につながっていると考えております。

【幸区・教育担当】